

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和 53 年 6 月 25 日生まれ（39 歳）
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格●参議院議員末松信介政策担当秘書
●平成 29 年 10 月神戸市会議員補欠選挙にて 27,279 票を得て初当選

2018.4

No. 6

垂水区の渋滞問題

平成 30 年度当初予算、および平成 29 年度補正予算の審議が大詰めを迎えています。神戸市会では当初予算の審議に際しては、本会議の前に、予算特別委員会を 3 つの分科会に分けて設置し、予算を局別に分類して審議を行うこととなっています。

私は今回は建設局と交通局の予算審査を担当し、**下水道事業の収支状況、漁業振興、小東山六丁目交差点など垂水区北部の渋滞問題、舞子駅前広場の整備、市バス事業の収支状況等**について審議をさせていただきました。

特に今号では、小東山六丁目交差点など垂水区北部の渋滞問題の審議について詳しくご報告をさせていただきます。市長もこの小東山六丁目交差点の問題については、平成 30 年度予算提案説明においても具体的に固有名詞をあげ、対策を進めていくことを表明しました。

小東山六丁目交差点の問題について、これまで議会としても、抜本的に何とかしてほしいと要望を繰り返し、当局としても検討するという回答を繰り返してきましたが、**現状の策としては左折レーンが 1 本できただけとなっており、抜本的な解決にはなっていません**。近隣地域にお住まいの方にとっては、日常生活すら困難になっているこの渋滞問題。私も垂水区の代表として、引き続き具体的な改善策を提案してまいります。



小東山6丁目交差点の渋滞問題について



小東山6丁目交差点の問題について、これまで議会として抜本的に何とかしてほしいと要望を繰り返し、当局としても検討するという回答をいただいていたが、現状の策としては左折レーンが1本でただけとなっており、抜本的な解決にはなっていない状況である。

私は渋滞という状況の中で利益を得ている立地者の責任であると考えている。渋滞になるほどたくさんの来店があれば、それが自分のたちの利益になる。一方で市民は渋滞になってほしいと考えていない。交通量が少なければ少ないほど利便性が高い。ここに重大な利益相反がある。

我々が当局に対して何度も抜本的に渋滞を解消してほしいと要望してきたことに対し、当局が抜本的な解決に至っていない原因は、この発想の違いにあると考える。

渋滞を起こせばその近くにある交通にインパクトを与えた立地者が原因であるということは当然のことである。市民が車に乗ることを渋滞の原因であるという国はない。だったら地域の立地者に応分に負担を求める制度を考えていかなければいけない。それが抜本的な改革の一つになると考える。

当局にはもっと危機感を持っていただきたい。渋滞の原因はどこにあるのか、ということをして市の見解としてしっかり述べていただきたい。そして海外で言うところの交通インパクトフィー制度、日本で言えば大店法と交通アセスメントの発展版のようなものであるが、市としても受益者に対し、コストを求めていくといったような具体的な解決策の検討について、当局の見解を伺いたい。

実際に商業施設が立地する際は、現行の制度だと、当該店舗による影響を抑えるよう、新たな左折進入路の追加設置や、交通誘導員の適正配置などの指導を行っている。さらに指導の場合、迂回広報等の店舗と一体となった取り組みや、店舗個別の協力が必要な場合の協力要請も実施している。

委員ご指摘の、国の有識者会議で検討が始まっている交通インパクトフィーについて、制度の内容としては、店舗立地による影響に応じて事業者が金銭を負担させ、それを道路改良費等に充てることで、効率的に交通対策事業を推進させるものである。国の方でも一定議論が始まったばかりと聞いており、今後の国の動向を注視していきたいと考えている。

もう一つは物理的に交差点をどうするかといった、抜本的な対策も併せて検討していきたいと考えている。



まだ当局と地域住民との温度差を感じる。神戸市を代表している渋滞地域である。長年議論されてきて、検討された結果が、左折レーンができたくらいでは、市の危機感が足りないのではないかと感じる。

渋滞の原因は誰の責任であるのかということをして、市は勇気をもって示してほしい。色々な原因があるため、わかりませんでは、10年後も同じ議論をしていることになる。ぜひ深刻な問題として一刻も早く解決するために、当局の英知を結集して取り組んでいただきたい。



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ 事務所 〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-15-9-3F TEL: 078-785-5171 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayuji.net
www.okadayuji.net



うえなか 雅子

きた! 来た!
GENKI-NET

☎078-322-5846

No.30-04

自民党 Lib Dems

まさこ

<http://uenakamasako.jp>

ごあいさつ

早いもので初当選から早や3年、いよいよ議員生活も4年目に入ります。

去年は、「文教こども委員会副委員長」として、中学校給食や待機児童問題に取り組み、本年は「経済港湾委員会副委員長」として、神戸開港150年の節目の観光プロモーションや食都神戸の推進に努めて参りました。

「大都市行財政制度に関する特別委員会」では、東京都庁にて、大都市における税制のあり方や宿泊税について研修し、又、「神戸市農業委員」として、地域農業のさらなる活性化に努めています。

議員としてのスタートは遅咲きではありますが、前北区連合婦人会会長として、又、保護司として、重ねてきた数々の経験を基に、山積する懸案事項の一つ一つにしていねいに向き合い、その解決に着々と挑んでいます。

「寄り添って、心ふれあう あったか市政」が私のめざすところであります。引き続き、ご要望を確実に形としてお示しできますよう、頑張ってお参ります。

神戸市会議員 うえなか 雅子



「団塊世代」代表。

神戸の新たな未来を切り拓く「6つの柱」

神戸市 平成30年度 予算の概要

1 輝く子どもたちの未来を創る

- 切れ目のない子育て支援
- 神戸市教育大綱等による学校教育の充実

2 健康・安全を守る

- 健康創造都市KOBEの推進
- 高齢者・障害者施策の推進
- 暮らしの安心と貧困の連鎖防止
- 自然・環境の保全
- 災害に強い都市づくり

3 街と地域を創る

- 新たな都市活力の創造
- 地域における交通利便性の確保
- 地域における協働の推進
- 芸術・文化・スポーツを楽しむまちづくり

4 神戸経済を伸ばす

- 中小企業等の経営基盤の強化
- 革新的な起業・創業支援、成長産業の集積
- 「食都神戸2020」の推進
- 市場機能の強化
- 集客観光施策の強化



5 陸・海・空の拠点を創る

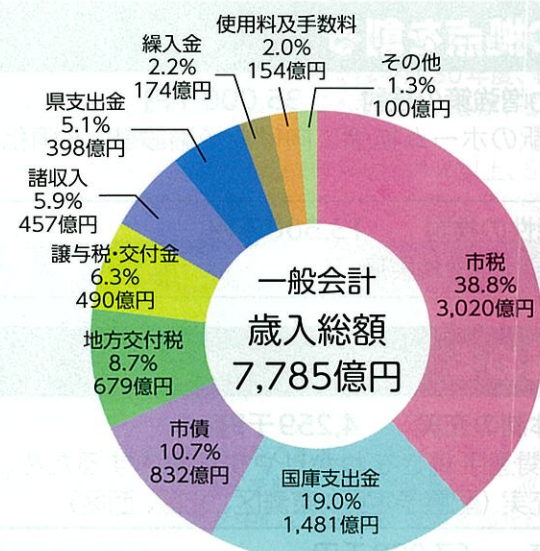
- 陸海空の広域交通結節機能の強化
- 都心・三宮、ウォーターフロント地区の魅力向上

6 市政改革を進める

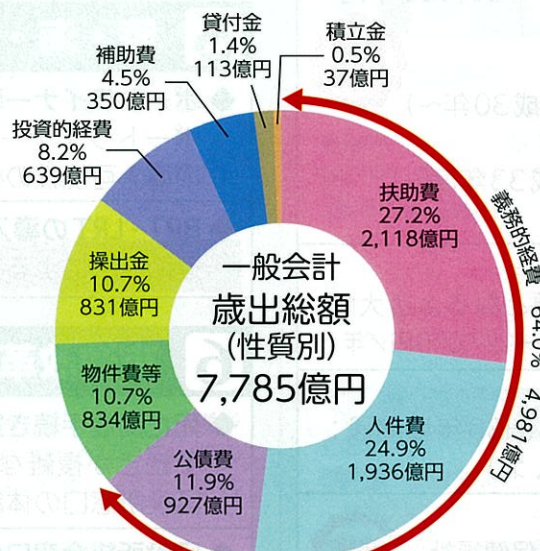
- 現場対応力の強化による市民サービスの向上
- ICT等を活用した業務革新・働き方改革の推進

予算提案額の概要〈予算の規模〉

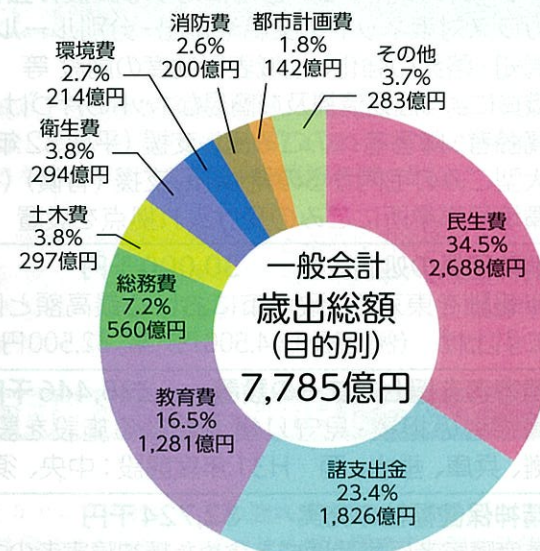
	平成30年度	平成29年度	増△減	伸率(%)
一般会計	7,785億円	7,812億円	△27億円	△0.4
特別会計	6,604億円	7,078億円	△27億円	△6.7
企業会計	3,177億円	3,207億円	△27億円	△1.0
合計	17,566億円	18,097億円	△27億円	△2.9



一般会計歳入予算の概要



一般会計歳出予算(性質別)の概要



一般会計歳出予算(目的別)の概要

「6つの柱」の身近な項目

1 輝く子どもたちの未来を創る

- ◆ **高校生通学費助成 18,000千円**
H29年6月26日 第1回定例会市会で質問
北神急行の通学定期利用者に対する運賃補助を実施
(助成額：1ヵ月/1,500円・3ヵ月/5,000円・6ヵ月/10,000円) **実現しました**
- ◆ **しあわせの村の駐車料金の無料化 15,640千円**
H28年11月25日 自民党会派の市長への予算要望
18歳未満の子どもを含むグループについて、駐車料金を無料化
(現行：普通車1日500円) **実現しました**
- ◆ **潜在的な保育需要を踏まえた待機児童の解消 3,582,973千円**
H28年10月3日 決算特別委員会で子ども家庭局へ質問
H29年6月26日 第1回定例会市会で質問
保育所等の整備による保育定員の拡大：+1,600人増
(H31年4月定員見込：28,350人) **前進しました**
- ◆ **定着一時金の支給 351,800千円**
採用3～7年目の保育士に対して、就労継続・定着をはかるため、一時金を支給(年最大20万円、5年間で最大100万円)
- ◆ **新卒保育士等への一時給付金 220,000千円**
新たに採用された保育士に対して、採用後2年間で最大40万円(1年目10万円・2年目30万円)の一時金を支給(常勤保育士として復職する潜在保育士を新たに対象に追加)
- ◆ **学齢前児童の遊びの地域拠点の整備 38,545千円**
主要駅近くにおいて、未就学児のための安全な屋内の遊びの場を提供(北区・神鉄岡場駅前)
- ◆ **小・中学校の遠距離通学者助成の拡充 20,646千円**
公共交通機関を利用して通学する市立小中学生の保護者に対する通学費助成を半額補助から**全額補助**に拡充
- ◆ **神戸市就学援助の前倒し 170,738千円(29年度2月補正)**
従来7月に支給していた新入学児童生徒学用品費を入学前の3月に前倒し支給
- ◆ **こども医療費助成 5,227,882千円**
中学3年生まで全ての子どもが無料もしくは低額な負担金で医療機関を受診できるよう医療費を助成
・入院 負担なし
・外来 0～2歳児：負担なし
3歳児～中学3年生：1医療機関等あたり1日上限400円を月2回 **(3回目以降は無料)**

2 健康・安全を守る

- ◆ **道路等へのベンチの設置拡充 36,800千円**
H27年10月1日 決算特別委員会で交通局へ質問
まちなかの憩いの場として、道路やバス停にベンチを設置 **実現しました**
松が枝バス停にて H29年10月1日～
- ◆ **クリーンステーション管理に対する支援の強化 27,408千円**
カラス対策ネットの支給や排出・分別ルールの周知・啓発の強化、地域表彰制度の創設等
職員による簡易清掃及び簡易なネットの片づけ(平成30年～)
高齢者・障害者へのごみ出し支援(平成32年～)
大型ごみの宅内からの持ち出し支援(有償)(平成33年度～)
環境局事業所にごみの受け入れ拠点を設置 **実現しました**
- ◆ **消防団員の処遇改善 30,000千円**
年報酬を東京都・政令市における最高額と同額となるよう大幅に引上げ(例) 団長+44,500円/年：82,500円/年→127,000円/年
- ◆ **障害者支援センターの設置 228,446千円**
障害者の相談・見守り拠点となる施設を設置(H30年度開設：灘、兵庫、垂水、西 H31年度開設：中央、須磨、北)
- ◆ **精神保健福祉の充実 82,724千円**
重度障害者医療費助成を含めた精神障害者の方の保健福祉施策や区の体制など、精神障害者施策のあり方について検討 **前進しました**

3 街と地域を創る

- ◆ **区役所整備 3,376,825千円**
H28年3月7日・H29年3月8日 予算特別委員会で住宅都市局へ質問
・新北区庁舎の整備(H30年9月供用)
住記・戸籍システムの改修により北区庁舎がワンストップ窓口のモデルとなる **実現しました**
- ◆ **神鉄シーパスインの拡充 224,635千円**
H28年3月7日 予算特別委員会で住宅都市局へ質問
販売枚数を現行の4枚から5枚へ拡充 **実現しました**
- ◆ **慢性的な渋滞対策の検討 26,000千円**
垂水区小東山6丁目交差点および北区皆森交差点周辺における渋滞解消策の検討 **前進しました**
- ◆ **空き家の活用促進支援 26,916千円**
H29年3月8日 予算特別委員会で住宅都市局へ質問
隣地統合を支援するコーディネーターの派遣等によりマッチングを促進するとともに、狭小宅地の流通をはかる助成制度を新設 **実現しました**
- ◆ **空き地活用支援 5,771千円**
H29年3月8日 予算特別委員会で住宅都市局へ質問
未利用となっている空き地を「まちづくり空き地バンク」に登録し、地域団体等とのマッチングを推進するとともに、助成・支援制度により空き地の活用を推進 **実現しました**
- ◆ **北鈴蘭台駅前地区再開発事業 91,000千円**
民間再開発事業による再開発ビルや周辺道路環境の整備
- ◆ **地域コミュニティ交通支援 40,974千円**
H27年7月2日 第2回定例会市会で質問
コミュニティバス導入に向けた専門家派遣や試験運行、本格運行等の地域の主体的な取組みを支援
北区八多町では、H29年10月から本格運行が開始され、今後、大沢町・淡河町・有馬町・北五葉が試験運行を実施予定 **前進しました**

4 神戸経済を伸ばす

- ◆ **新たな中小企業販路開拓支援事業 2,500千円**
バイヤー招聘個別商談会や市営地下鉄の駅構内スペース等を活用したパイロットショップ(エキナカ)による販路開拓を支援(神戸商工会議所からの要望) **実現しました**
- ◆ **IT・コンテンツ産業のスタートアップ・イノベーション拠点立地促進補助の創設 12,000千円** H29年9月5日 第2回定例会市会で質問
IT関連産業の集積を促すため、イノベーション拠点整備にかかる費用やオフィス賃料を補助(県市協調) **前進しました**
- ◆ **北区淡河町等における光回線の整備 90,000千円(29年度2月補正)** H27年12月21日 企画調整局へ要望
光回線が未整備である北区の淡河町及び大沢町の一部について、通信事業者の初期投資経費を助成 **実現しました**

5 陸・海・空の拠点を創る

- ◆ **ポータルライナー輸送力増強策の検討 35,000千円**
ポータルライナー三宮駅のホーム拡張に向けた予備設計、8両化の導入可能性の検討
- ◆ **BRT・LRTの導入可能性の検討 13,500千円**
連節バスによる社会実験の継続実施

6 市政改革を進める

- ◆ **死亡関連手続き案内体制の充実 4,259千円**
手続きが複雑な死亡関連手続きをわかりやすく案内するため、区役所窓口の体制を充実(配置予定区：東灘区、北区、西区)
- ◆ **区役所総合窓口の拡充 67,000千円**
新たに**北区**(H30年9月)、垂水区(H31年1月)に開設

平成30年度 予算特別委員会



平成30年3月2日（金）
自民党会派を代表して、保健福祉局へ
40分間の質疑を行いました。
（議事録抜粋）



平成30年3月7日（水）
自民党会派を代表して、建設局へ
38分間の質疑を行いました。
（議事録抜粋）

1 重度障害者医療費助成の拡充について

【質問】 植中雅子

精神障害者医療費助成の2級拡充も含め、精神障害者の保健・福祉・医療・就労に関する総合的な施策の充実と、そのために必要な財政措置を早急に求めたい。今回の予算で、「精神障害者施策のあり方検討」があがっているが、具体的にどのように進めていくのか当局の見解を伺いたい。

【答弁】 三木局長

重度障害者医療費助成を2級に拡充するに当たり、他の障害との整合性についての議論が必要となる。精神疾患の通院は自立支援医療の対象だが、任意の入院は助成の対象となっていない。本市においては、精神障害者施策について検討する場が無いことから、新たに、学識経験者を含め、医師、事業者、家族会等から意見を聞く場を設けることとし、平成30年度予算で500万円を計上している。

【再質問】 植中雅子

では、まずは一般医療の入院の2級拡充から対応するというのか。

【答弁】 三木局長

まずはそれかと考えている。

2 精神障害者就労支援について

【質問】 植中雅子

平成30年度の障害福祉サービス等の報酬改定により、就労継続支援B型は目標工賃達成加算が廃止され平均工賃月額に応じた基本報酬が設定されることになり、報酬が極端に下がってしまうことを危惧する声があがっている。神戸市としても国に要望するなど働きかけていくべきだと考えるがどうか。

【答弁】 狩野就労支援担当部長

未だ工賃に応じた報酬体系となったときの計算方法などは国から示されていないため、今後の状況を見守るとともに、大きく報酬が下がり、事業所の運営が困難ということになった場合は、国に対して要望してまいりたい。

3 脳脊髄液減少症の医療体制の充実について

【質問】 植中雅子

医療産業都市を謳っている本市であれば、必要な医療体制の整備、医師の育成、医師の呼び込みなど積極的に取り組んでいただきたいと考えるがどうか。

【答弁】 伊地智保健所長

県下で脳脊髄液減少症の診断をしている病院は21か所、本市内では4か所、ブラッドパッチ療法を行う病院は明石市2か所と西宮市2か所の計4か所。中央市民病院では、明石市の医療機関へ紹介する等、症状にあわせた対応を行っている。

【再質問】 植中雅子

まず相談窓口を開設するなど、今できる範囲で取り組んでいくべきだと考える。

【答弁】 伊地智保健所長

相談窓口は本市ホームページで案内している。本市でも本症例が診察できる体制にしていきたい。

4 親なき後対策について

【質問】 植中雅子

平成30年度より介護保険サービスと障害福祉サービスにおいて、共生型サービスが導入される。職員の資質向上のための施策など行政の支援も必要になると考えるがどうか。

【答弁】 三木局長

介護保険の事業者説明会、障害福祉サービス事業者説明会を県と共催で実施する。

【再質問】 植中雅子

共生型サービスの考え方を入所系サービスにも導入できれば、さらに親なき後対策が進むと考えているが、本市では平成30年度、特別養護老人ホームにおける高齢障害者の受入促進を新たに打ち出しているが、どれぐらいの効果があるのか。

【答弁】 三木局長

特養の入所指針について障害支援区分の4以上、50歳以上は区分3以上の方について高齢障害者の特列入所を認めようと考えている。

5 シニア世代施策について

【質問】 植中雅子

介護予防のために高齢者就労を充実させるべきだと考える。

【答弁】 花田高齢福祉部長

「生きがいや社会的責任を持って働き続けるといったこと」は、まさしく介護予防にもつながる重要なものであると認識している。福祉事務所にハローワークの常設窓口を兵庫区と西区を除く7区に設置して、巡回相談を実施し、また、シルバー人材センター事業を中心に高齢者の就業支援を行っている。

【要望】 植中雅子

しあわせの村においても、平日に一番利用するのは高齢者であるので、高齢者への手厚い支援の施策も考えていただきたいと要望する。



1 街路樹のアセットマネジメントの促進について

【質問】 植中雅子

街路樹の支障木の撤去や樹種転換というアセットマネジメントを進めていくことだが、今後、街路樹のアセットマネジメントをどの場所にどのように進めていくのか見解を伺いたい。

【答弁】 油井局長

平成29年4月に街路樹再整備方針を策定し、大木化・老木化した街路樹の計画的な転換・更新などや、見通しや通行の妨げとなっている支障木の撤去、北区などの郊外で周辺の緑地と重複し、環境や景観の向上効果が薄い街路樹の撤去などを進めることとしている。

樹木の老朽化の度合いや地域状況、地域の要望等を踏まえて対象とする路線を抽出し、地域の声をしっかりと聞きながら街路樹のアセットマネジメントに取り組んでまいりたい。

【再質問】 植中雅子

1年に1回の剪定にはできないのか。

【答弁】 広脇公園部長

毎年約3万本ずつ剪定を行っており、剪定頻度を一律に増やすことは難しい。

2 公園リノベーション事業について

【質問】 植中雅子

これまでの公園の整備と何が違うのか、具体的に伺いたい。

【答弁】 油井局長

各区の拠点となる公園を選定し、子どもたちがもっと公園に行きたくくなるような魅力を創出していく。平成30年度は、鈴蘭公園において、それぞれの世代に合った魅力のある遊具を設置する。

【再質問】 植中雅子

各区の整備箇所や整備目標は決まっているのか。

【答弁】 油井局長

親子で楽しめる拠点となる公園は、各区1～2箇所程度、健康づくりを行える拠点となる公園は、各区1箇所程度整備し、2020年までに拠点公園の再整備5公園着手を目指す。



3 国道428号について

【質問】 植中雅子

皆森周辺地区の慢性的な渋滞は神戸市にとって大きな損失ではないか。抜本的な対策を検討する時期に来ていると思うが、当局の見解を伺いたい。

【答弁】 油井局長

来年度は東行き車線を谷上駅付近まで、新たに1車線追加する抜本的な対策を検討している。

【再質問】 植中雅子

同じ428号の、大滝口も課題の解決に向けた抜本的な対策が必要と思うがどうか。

【答弁】 油井局長

過年度から現道を拡幅する案、あるいはトンネルによる改良について、検討を進めてきたところである。コスト縮減の検討を行うとともに、引き続き検討を進めてまいりたい。

4 土砂災害対策について

【質問】 植中雅子

平成28年度から兵庫県が土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンの指定を進めており、北区では既に346箇所が指定されている。ハード対策を求める要望が多いが、今後どのような対応を考えているのか見解を伺いたい。

【答弁】 油井局長

ハード対策について、一定の人家戸数を有するなど事業採択の要件を満たす箇所については、引き続き、国・県に対し、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業の更なる推進を要望していきたい。市立の学校園や岡場公園・愛宕山公園など、公共性や施設の重要度などを考慮し、優先度の高い箇所から順次、ハード対策を進めていきたい。

5 日の峰3丁目緑道の水路復旧について

【要望】 植中雅子

北区日の峰3丁目の畑の辻緑道のせせらぎの流れが止まってから既に2年以上が経っており、自治会や住民の方々から、このせせらぎに関する質問や要望がたくさん届けられている。まちの防災にも役立ち、いこいの場にもなるため、前向きな取り組みを検討していただきたい。



うえなか 雅子のブログより

まさこ



▲11月5日
地元上谷上天満神社境内にて
農村歌舞伎上演。



▲11月5日
第15回日本空手道拳志会選手権大会にて
大会顧問として出席し、ご祝辞を述べました。



11月9日▶
横浜市金沢区役所にて
「金沢八景」襷絵の前で。

▲11月8、9日
自民党会派管外調査で
川崎市、横須賀市、東京都へ。
海上自衛隊横須賀基地にて。



▲11月13日
経済港湾委員会行政調査で
横浜市へ。



▲11月26日
第14回神戸市グラウンド
ゴルフ秋季大会にて。



▲12月10日
「神戸の地域エネルギーを未来
につなぐシンポジウム」を神戸大
学総合研究拠点コンベンション
ホールで開催。以前、ハンブルク
市を訪れた時にお会いした、
ハンブルク市経済・交通・イノ
ベーション省のコレヤ・ハーダー
ス氏がエネルギー転換へのチャ
レンジをプレゼンされました。



▲12月20日
神戸観光局設立総会にて。
神戸観光局尾山会長、岡
口副市長と共に。
経済港湾委員会副委員長
として出席。



▲1月2日
有馬温泉入初式にて。



▲1月13日
谷上小学校のとんどにて。
餅つきのお手伝い。



▲1月25日
大都市行財政制度に関する
特別委員会の視察。
東京都庁・浜松市役所へ。



▲2月9日
INAC神戸レオネッサ
感動感謝の集いにて。

『谷上プロジェクト』キックオフ イベント

平成29年9月5日(火)、第2回定例会にて
「IT関連のベンチャー企業の谷上誘致」を代表質問しました。

『谷上プロジェクト』とは、私が2017年7月27日～
8月3日に、日米友好神戸市議員連盟の一員として、
シアトル市・サンフランシスコ市視察の際に訪れたシリ
コンバレーでの意見交換会がご縁で、ChatWork CEO
の山本敏行氏が発起人となり、ビジネスの分野で、日
本をワクワクさせるような「挑戦と変化」が生まれるコ

ミュニティづくりを、「谷上」で進めていこうとするプロ
ジェクトです。3月1日のキックオフイベントには、谷上
地区をはじめ市内・市外、さらには全国各地、海外から
約250人が谷上に集結。谷上が大変な熱気に包まれました。
新神戸まで8分、三宮ま
で10分というアクセスの良さと
緑豊かで静かな環境を武器に、
変化を起こすプロジェクトの立ち
上げ支援を行い、イノベーション
を起こし続けるサイクルを日本
で作ることを目指しています。既
にベンチャー8社の本社が谷上
に移転しています。



久元神戸市長もイベントにご出席。
発起人の山本敏行氏と。



井戸兵庫県知事もイベントに
ご出席。



地元の市会議員として
「皆さん応援よろしく」
とご挨拶。



谷上のTマークです！
(1月15日谷上プロジェクト新年会にて)

PROFILE

主な経歴	昭和24年 5月 8日	出生
	昭和37年 3月	神戸市立山田小学校卒業
	昭和43年 3月	親和女子高等学校卒業
	昭和45年 3月	辻村洋裁学院修了
	昭和45年 5月 2日	植中進と結婚
	平成11年 3月	流通科学大学商学部 サービス産業学科卒業
	平成15年 3月	関西福祉科学大学大学院 社会福祉学研究科 臨床福祉学専攻修了

趣 味 読書／ガーデニング／民踊／旅行
社交ダンス／ゴルフ／コース

主な役職

平成10年 4月～現在	日本応用心理学会 会員
平成13年 5月～現在	北区更生保護女性会 会員
平成17年 4月～現在	(有)神戸美ライフ倶楽部 代表取締役
平成17年 7月～18年 6月	北神戸グリーンライオンズクラブ会長 (第28期)
平成18年 4月～20年 3月	JA兵庫六甲神戸北女性会谷上支会長
平成19年 9月～現在	社会福祉法人ゆうわ福祉会 理事長
平成20年 4月～25年 7月	山田町婦人会 会長
平成20年 5月～現在	心月会 (北区協力雇用主会) 副会長
平成20年 7月～21年 6月	北神戸グリーンライオンズクラブ会長 (第31期)
平成24年 4月～25年 7月	北区連合婦人会 会長 神戸市婦人団体協議会 理事
〃	NPO 煌めぐみ 理事
平成26年 9月～現在	保護司
平成26年10月～現在	北区空手道協会 会長
平成27年 6月～現在	〃 神戸市会議員
平成28年 6月～29年 5月	文教子ども委員会 副委員長 大都市行財政制度に関する特別委員会 理事
〃	〃
平成28年 6月～現在	神戸市農業委員会 委員
平成29年 6月～現在	経済港湾委員会 副委員長 大都市行財政制度に関する特別委員会 委員
〃	〃

山口由美

情熱市政

NEWS



プロフィール

発行:自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL.078-322-5846

- 1980 岐阜県岐阜市に生まれる
- 1994 事故により車椅子生活となる
以後、講演活動・車椅子陸上を始める
- 2001 トレーニング環境を求めて神戸市に単身転居
- 2002 愛知学院大学文学部心理学科卒業
車椅子陸上において日本代表入りを果たす
フェスピック・ブサン大会にて金メダル獲得
- 2004 パラリンピック・アテネ大会出場

- 2006 ワールドカップ(英)にて銀メダル獲得
現役引退
- 2007 神戸市会議員選挙にて初当選
- 2011 神戸市会議員 2期目当選
- 2015 神戸市会議員 3期目当選
- 2016 福祉環境委員長、政調会長を拝命(1年間)
- 2017 未来都市創造に関する特別委員会 委員長を拝命



平成30年度予算を承認しました。

西区関係にも、しっかりと予算をつけていただきました



予算特別委員会で質問しました



市民の皆様をはじめ、各種団体様とも意見交換をしました



詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております。山口由美です。

温かい日差しに心が安らぐ季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は2月から予算審議に入り、目まぐるしい日々を送っておりました。1月に発行したハガキ版市政報告の配布後には、多くの皆様からご意見をいただき、ありがとうございます。まだ大半の方に返信ができておらず、大変申し訳なく思っております。いただきましたご意見には1つひとつ目を通しながら、議会の質問へ反映させていただきました。まだ不勉強な分野が多々ありますが、神戸市の発展、市民の皆様の幸せにつながる施策について、これからも貪欲に取り組んでいきます。

今後ともご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



ご意見・ご感想は…

TEL 078-322-5846 FAX 078-322-6164 E-mail.yamaguchi@yumiguma.com

HPもご覧ください

<http://www.yumiguma.com/>



七転び八起き日記 ブログ更新中!

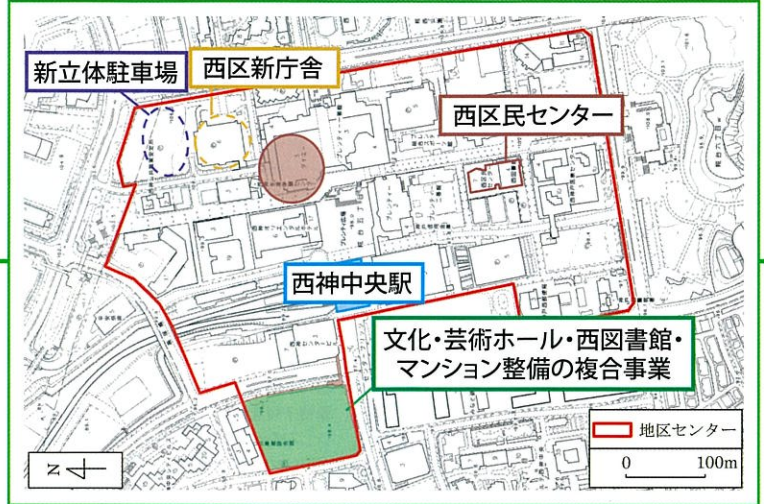
情熱市政 TOPICS ① 30年度の動き

① 西区について

◆地域課題を把握するための生活利便性調査

西神中央

- ◆新たなホールの設備検討
- ◆新・西図書館の整備基本計画
- ◆西区新庁舎の基本設計 (H33年秋頃移転・開設予定)
- ◆かりばプラザのリニューアル



押部谷
押部谷東地域福祉センターの整備

西神南
いぶきの森球技場・クラブハウスの整備
消防出張所整備検討

伊川谷
空き家実態調査 (戸建住宅のみ)

学園都市
まちバス (コミュニティ交通) の検討

◆西区役所における死亡手続き案内体制の充実
◆現玉津庁舎の活用に関する検討開始
◆雨水幹線工事の実施 (高津橋は完了予定、西河原は継続)

神戸西バイパスの整備促進!
一部側道が開通する予定です
第二神明道路の料金改定
(詳細は裏面をご覧ください)

② こども・福祉関係(一部抜粋)

総合児童センターの 移転拡充

中央区→兵庫区に
移転するための
設計業務等が始まります。



療育体制の再構築

東部療育センター(東灘区)が
開設されます。



医療的ケア児の 受入体制整備

小学校のみならず、未就学児の
教育・保育施設等での受け入れが
促進されます。

重症心身障がい者(児)の 入所施設等整備

中央区内の高齢者施設の
転用にて整備されます。

学童保育の要配慮児の 支援体制強化

支援員の加算が
増えます。



病児保育の拡充

市内14か所→16か所の
整備を目指します。

産婦健康診査助成

産後2週間・1ヶ月などの
産婦に健診費用の助成
(1回5,000円、2回まで)が
始まります。



児童養護施設への支援

高校生部活動費について1人当たり
年間5万円の補助制度ができます。

乳児院の 職員体制強化

職員の配置が支援されます。



③ こども向け創造的教育の実践

こども向け創造的教育の実践

こどもの創造的学びに関する研究会

モデルプログラムの開発



30年度にスタートする創造的教育について委員会で質疑しました。神戸で育むこどもたちに新たな価値を創出する力を育てていく施策が始まることに大いに期待しています。



山口

情熱市政 TOPICS 2 ヘルプマーク・ヘルプカードの配布が始まりました



ヘルプマーク
 義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるよう、作成したマークです。

ヘルプカード
 緊急連絡先や必要な支援内容などを記載し、災害時や日常生活の中で困った時に、周囲に提示することで、自己の障がいなどへの理解や支援を求めるためのものです。市のホームページから様式をダウンロードし、印刷してご利用いただくこともできます。



こんなときに役立ちます



普段の生活の中で
 ちょっとした手助けが必要なおきに、スムーズに支援をお願いすることができます。



緊急のとき
 パニックや発作、病気のときに配慮してほしいことや常用している薬の情報などを伝えることができます。



災害が発生したとき
 家族の連絡先、避難所生活で配慮してほしいことなどの情報を伝えることができます。

このようなマークについては、障がいのあるお子さんを育てるお母さん方から、以前よりご要望いただいていた。この度、神戸市でも配布が始まりました。ご提案・ご協力いただいた皆様ありがとうございました!



山口

【配布場所】 各区健康福祉課あんしんすこやか係、西神中央出張所保健福祉サービス窓口、障害者福祉センター(総合福祉センター内) 【問い合わせ先】 神戸市総合コールセンター 電話:078-333-3330

情熱市政 TOPICS 3 第二神明道路の料金改定について

国土交通省は高速道路の料金体系を全国的に同じ水準で、対距離制(距離に応じた料金)・5車種区分(軽・普通・中型・大型・特大)に見直すこととしています。しかし、この水準で第二神明道路の料金を見直せば、**利用者の負担は大幅に増えてしまいます**。そこで、**兵庫県・神戸市・明石市から「激変緩和措置の導入」を行うよう国土交通省に提案**を行い、「1kmあたりの料金を29.52円(大都市近郊区間水準)から24.6円(普通区間水準)へ引下げ」、「距離によらない利用1回あたりの料金(=150円)を徴収しない」、「上限料金の設定」などが行われることとなりました。

料金改定は実質値上げとなり、私たちにっては大変辛い情報ではありますが、神戸西バイパスの整備には大きく貢献するものであると聞いております。改定の時期など、今後も状況把握に努めていきます。



山口



明石西IC→須磨IC (23.0km)
新料金(激変緩和後)
480円<480円>

料金所の設置後に徴収
玉津IC→大蔵谷IC (5.5km)
新料金(激変緩和後)
150円<150円>

長坂IC→須磨IC (7.5km)
新料金(激変緩和後)
200円<410円>

高丸IC→須磨IC (5.5km)
新料金(激変緩和後)
150円<410円>

現行	新料金(対距離)
320円	900円

現行	新料金(対距離)
実質無料	340円

現行	新料金(対距離)
210円	400円

現行	新料金(対距離)
210円	340円

※<>内は非ETC車(普通車)

※料金はETC車(普通車)の場合。※「新料金(対距離)」の第二神明道路は(150+29.52)×1.08で算出。※現行の割引は廃止。※短距離利用の促進により並行一般道の渋滞削減等を図る観点から、利用距離が4.7km以下(1区間利用に限る)であれば下限料金(110円)で利用できる措置を行う。※並行する一般道の沿線環境改善などのため、大型車及び特大車について深夜割引(3割)を導入。※5車種区分への統一にあたっては負担増などを考慮して段階的に実施。(第二神明については、中型1.07、大型1.55とする(平成33年度まで))

市政報告

(須磨区版)

あだち和彦

住宅宿泊事業(民泊)の実施の制限等に関する条例について質疑しました!

平成30年第1回定例会市会の2月議会が開催され、神戸市当初予算案において議案提出されていましたが「住宅宿泊事業の実施の制限等に関する条例」いわゆる「民泊」について市長及び副市長に対し質疑を行いましたので、ご報告させていただきます。

立地規制(制限区域の考え方)について

Q 【安達議員】 私は関西広域連合の議員にも就任しているが、同じ関西でも県が異なれば当然民泊に対する考えも全く異なると感じている。本市の条例も、全国一厳しいと言われている兵庫県の考えに沿った形となっているが、この度の条例案における制限区域や制限期間の考え方は、市民の様々な声を反映し、住環境を保全すべきところや、観光政策や神戸2020ビジョンを踏まえると、むしろ民泊を活用すべきところなど、真に神戸の実情を踏まえた立地規制となっているのか。



A 【久元市長】 市民の様々な声を反映し、生活環境の悪化を特に防止すべき地域においては規制を強化する一方で、民泊を活用すべき地域を除外できる規定を設けるなど、神戸の実情を踏まえた条例の内容を取りまとめ、提案したものである。

要望 【安達議員】 民泊をしっかりと規制すべき場所と、民泊を活用して神戸の観光に資する場所の違いがあると考えている。

積極的に民泊を活用すべきだと考えているところとして、例えば、観光地としてのポテンシャルが少し下がってきている六甲山が挙げられる。そこには個人の別荘や企業の保養所がある。また、北区の茅葺屋根の家が空き家になっているケースが見受けられるが、そこで体験民泊ができればよいと考えている。

規制すべきところと活用すべきところをしっかりと線引きしていただきたい。

A 【久元市長】 市民の様々な声を反映し、生活環境の悪化を特に防止すべき地域においては規制を強化する一方で、民泊を活用すべき地域を除外できる規定を設けるなど、神戸の実情を踏まえた条例の内容を取りまとめ、提案したものである。

市民・事業者への周知の必要性について

Q 【安達議員】 民泊を実施しようとする事業者だけでなく、市民に対しても条例内容に加えて法規制の内容を十分に周知していく必要があると考える。非常にタイトなスケジュールの中で今後どのような周知を行っていくのか。

A 【玉田副市長】 マンション住民に関しては、民泊をめぐるトラブル防止のため、民泊を

許容するか否かについて管理組合において議論していただき、その結果を管理規約上明確化しておくことが望ましい。一般の市民に対しても、今後、住宅宿泊事業法や本条例の規制内容について、市のホームページ、リーフレットを作成するなどして、さらに「広報紙こうべ」への掲載も検討するなど、早期に周知できるように努めていきたい。

Q 【安達議員】本市で平成 16 年頃にラブホテルの駆け込み建築があり、市議会も必死に規制強化に乗り出し、神戸市ラブホテル等建築指導要綱の改正が行われたが、民泊事業の開始にあたり、この規制が形骸化されないか危惧している。この点について、どのように考えているのか。

A 【玉田副市長】条例第 3 条第 4 項において、事業者に対し「公衆衛生又は善良な風俗を害することがないよう」という規定を設けたところである。

また、ホテル要綱において「周辺住民への説明」の指導を行っているが、住宅宿泊事業者に対しても条例第 3 条第 1 項で説明会の実施をさせるとともに、事業の届出に際して説明会の実施結果を報告することを義務付けた。

さらに、国から出ているガイドラインでは、例えば住宅宿泊事業が実質的にラブホテルとして事業が行われる場合には、警察による風営法に基づく対応を行うほか、本人確認が適切に行われない場合には改善命令・停止命令等の厳格な指導を行うと規定されている。よって、本市としても警察と連携して、事業者に対して住宅宿泊事業の適正な運営を求めていくことに注力していきたい。

Q 【安達議員】パブリックコメントでも多くの市民が不安を訴えているように、民泊が出来た後に、例えば民泊利用者の生活慣習の違いから、ごみ捨ての問題等の発生が容易に想像できる。本来民泊の所管は保健福祉局であるが、ごみの問題であれば環境局が対応する等、経済観光局や住宅都市局、各区役所といった全庁的な対応が必要になる可能性がある。

そのような場合、立入検査等が必要になってくるかと思われるが、十分な人員配置が行われるかも含め、どのように法や条例の実効性を確保していくとしているのか。

A 【久元市長】この条例が施行された場合、実効性を確保していくことは大変重要だと考えている。住宅宿泊事業の届出については、保健福祉局生活衛生課が添付書類の審査や、説明会の開催状況の確認などを行う。また、市民からの事業に起因する苦情・改善が必要な場合には、衛生監視事務所をはじめとした関係局区において対応を行う。

所管が分かれており、それぞれの部局で対応せざるを得ないが、保健福祉局、住宅都市局、経済観光局、消防局、環境局並びに住宅宿泊事業を行う者が所在する区役所等で情報共有し、連携しながら対応することが不可欠だと考えている。

指導等にもかかわらず、改善が見られない場合には、法第 15 条に基づく業務改善命令、法第 16 条に基づく業務停止命令等の行政処分を行う。また、条例第 4 条に基づく勧告、条例第 5 条に基づく公表の規定もあることから、これらを有効に活用し、市民の方々からの苦情や問題事案に対して毅然とした対応を行っていきたい。



議員提出議案の提案趣旨説明を行いました!

3月28日に開催されました本会議に於きまして、提案議員を代表して議員提出第30号議案及び議員提出第31号議案の提案趣旨説明をさせて頂きました。その後、採決があり両議案とも起立多数で可決されました。第30号議案は、「白タク行為の容認を旨とした規制改革の自粛を求める意見書提出の件」、第31号議案は、「地方議会議員を優遇する地方議会議員年金制度の復活に断固反対する意見書提出の件」です。



活動報告

水素スマートシティ事業について

これからの時代、エネルギーをどこに求めていくかが課題であります。神戸市はその一つとして水素に力を入れています。水素は車やバスの燃料としてのみならず、水素を使った発電も実用化されつつあり、神戸では全国に先駆けて、水素 CGS 活用スマートコミュニティ技術開発事業をスタートさせています。ここで発電した電気量で、ポートアイランドの中のほぼ全ての公共施設の電気を賄っています。



▲実際に運行されている東京都営水素バス



神戸市長とホルヒ大臣との間で、水素産業に関わる共同宣言に署名が取り交わされました。

・3月4日には、自民党国会議員で構成する水素社会小委員会（渡辺博道委員長）の皆さんも視察に来られ支援をお約束戴きました。

▼4月4日には、水素事業の先進地であるドイツ・ハンブルクからホルヒ経済大臣、アンナ第2代ハンブルク桜の女王始め、経済ミッションが来神され、久元



▽ 私立幼稚園の視察を行いました



私は、神戸市私立幼稚園振興議員懇話会の会長を務めていますが、現在色々な課題を抱えている幼児教育の重要さを、改めて確認するために、その現場を視察し、園長先生からも、生の声を聞かせて戴きました。(2月6日、東灘区本山幼稚園)

▽ 関西広域連合議会議員として

井戸敏三兵庫県知事が、連合長を務める関西広域連合(2府6県4政令都市で構成)議会の議員を昨年から務めていますが、その本会議に於いて、井戸連合長に対し、「働き方改革」「関西広域連合の存在感」の二点について質疑を致しました。



▽ 自由民主党岸田政務調査会長に要望書を提出しました



3月16日、坊やすなが議員とともに国の予算の説明会や党本部における部会への地方議員の出席をお願いする旨の要望書を、岸田文雄自由民主党政調会長に直接手渡しました。(3月末実施に向けての積極的な返事を頂きました。)

▽ スポーツ推進神戸市会議員連盟を立ち上げました!

3月28日、スポーツ推進神戸市会議員連盟の設立総会が開催され、設立世話人を代表して、正式に役員が決まるまでの間、進行役を務めさせていただきました。柔道は勿論、マラソン、サッカー、ゴルフ等の発祥の地であると言われている神戸市のスポーツ施策の強化を目指して58名の議員で連盟が発足致しました。



神戸市営地下鉄の1号車両を保存します!



昭和52年(1977)に開業した神戸市営地下鉄は今年41歳を迎えます。今年度から順次車両の更新が始まりますが、神戸市交通局には記念すべき1号車両がまだ現役で走っており、その行方を心配しておりましたが、この度その1号車両(1101)の「保存」が決定しました。

私から市長に特に強く保存を要望してきた経緯もあり、実現しました。1両のみの保存ですが、写真でご覧頂いている地下鉄1号車両(1101)も、神戸市の歴史を伝える生き証人となるでしょう。

より良い神戸へ目標にダッシュ!!

しらくに高太郎新聞

市政活動レポート No11-4

神戸市会議員

日頃よりのご支援・ご指導、また私自身の活動にご理解を賜り、改めて心より感謝申し上げます。時代に応える、市民目線の施策実現にこだわりを持ち、様々な課題解決に向け全力を傾注いたします。



〒



全天候型!舞子駅前郵便局がTIO舞子内に開局!

8年前よりTio舞子店舗会長と共に署名活動から始め、多くの市民の皆様と関係団体や神戸すまいまちづくり公社のお力添えにより、舞子駅前郵便局の開局が、ようやく実現と相成りました。JR舞子駅は乗降客数約2万人と重要な交通ハブですが、駅付近での金融関係の出店数は少なく、「郵便局が遠いので不便」、「買い物がてら、明石駅まで出向いている」等の様々なお声が挙がっていました。高齢者人口が市内最多で、子育て世代も多い垂水区にとって、郵便局の利便性向上は大事な課題です。今後舞子駅前郵便局が皆様に愛される郵便局になることを祈念しております。

水素発電サプライチェーン

神戸で世界初の水素サプライチェーンの実証実験がスタートしました。神戸・ポートアイランドの病院を含む4施設に水素エネルギーを効率よく安全に供給する実証実験が昨年末より行われています。水素利用は今後の再生可能エネルギー(風力、太陽光熱等)の推進に非常に重要な意味を持ちます。安定供給が困難な再生可能エネルギーを貯蔵する技術だからです。この事業は国を挙げてのクリーンエネルギー社会へ向けての画期的な事業ですが、市民の皆様に興味、関心を持っていただくことから丁寧に行う必要があります。わかりやすく、積極的な周知努力を市に求めています。



市民福祉の充実に向け

福祉教育プロジェクト

介護福祉人材不足は深刻な現代の課題です。そこで、平成28年9月定例会市会本会議にて「福祉学習の積極的な取り組み」について教育長に質疑いたしました。その後、神戸市老人福祉施設連盟（主に特別養護老人ホームの加盟団体以下、老施連）と神戸市教育委員会に、「中学校に向けての福祉教育」の具体化を相談したところ、昨年2月から老施連による「福祉教育プロジェクト」が立ち上がり、広がりを見せています。テキストの作成等の検討会議が重ねられ、昨年末より4つの中学校で福祉体験授業が実施されました。今後、「福祉教育プロジェクト」がさらに広がり、温かい心を持った生徒さんたちが、地域福祉を支える重要な人材となってくれることを切望しています。



ひまわり収集について

ひまわり収集とはごみ出し支援のことです。現時点では、「65歳以上の一人暮らし」、「要介護2以上」、「ホームヘルプサービスの利用」等の基本要件があります。しかし急な坂道や、階段等ハードルは様々で、要件を満たさないが、ごみ出しが困難な方も多く存在します。今後「要介護1以上」、「障害支援区分1以上」に要件緩和する予定です。現時点でも環境局は面談を通し要件にとらわれない対応を行っています。さらなる柔軟な個別対応を求めています。

平成30年3月5日
予算特別委員会(環境局)より



誰でも移動しやすい神戸に

駅のバリアフリー整備は進んでいますが、スムーズな乗り換え、乗り継ぎの実現には課題が残ります。そこで、昨年より専門のサービス介助士等による、乗り換え、乗り継ぎ補助の促進の提案を行っています。三宮駅の再整備によるバリアフリールート変更もあり、関係団体の連携要請を求めた結果、関係企業5社による協議が重ねられています。積極的なサポートの実現にはサポートや配慮を必要とする方々の可視化が効果的です。ヘルプマークの周知・啓発も行います。誰でも移動しやすい神戸に向け前進しています。

平成30年3月8日 予算特別委員会(交通局)より



自由民主党神戸市会議員団垂水区支部（しらくに事務所）

〒655-0013 神戸市垂水区福田 2-3-16 Tel:078-704-6060

Fax:078-709-5252 E-mail: shirakuni@shirakuni.net

しらくに高太郎活動報告ブログ <http://shirakunikobe.blogspot.jp/>

市会の傍聴はいつでもできます。(市役所1号館25階にて受付)

市政に関する相談など、お気軽にご連絡ください。



郵便はがき

料金別納
郵便

宛先を
よく所に尋ね
あたりません
RETURN UNKNOWN

様

神戸市会議員(最年少・1期目)

うえはた
上田のりひろ
市政報告

【経歴】

昭和62年12月4日生、家族妻・娘

甲南中学校・甲南高等学校・慶應義塾大学総合政策学部 卒業。

日本マクドナルド株式会社人事本部、鎌倉市議会議員を経て、
神戸市会議員 28,475票を賜り当選。現在、都市防災委員会委員等。

議員団室／神戸市中央区加納町6丁目5番1号

事務所／神戸市東灘区住吉本町2丁目14番20号

発行／自由民主党神戸市会議員団



自由民主党神戸市会議員団の一員として、 次の政策実現に向けて全力で取り組んでいます。

教育・子育て

少子化打破！最優先投資！

第1子から手厚い経済支援
保育所に落選した家庭に緊急手当
私学振興、幼稚園・保育所無償化
東灘区で保育所105人定員増

世界に通用する 紳士・淑女たれ

国際的視野を醸成し、
徳・体・知の調和のとれた教育

地域で見守り、 育てる街づくり

リタイア後の方やや大学生が、
放課後の子供達に勉強の指導
神戸版寺子屋事業
子ども食堂の応援、いじめ110番

経済の発展

これからもずっと
関西・神戸
商売繁盛・魅力づくり
事業継承の支援・相続税減免
土業による経営支援・法人税減税

神戸出身の若者の
カムバック策
神戸市独自の奨学金創設
空家を借り上げ、若者向け住宅

神戸の国際化と
規制緩和
国際会議の誘致
(関西万博、G20閣僚会合、WCRP)
海外進出・知的財産化支援
空港の国際化、発着枠規制緩和

行財政改革

資金運用の効果効率向上！
神戸市の資金運用は5,000億円
しかし、運用利回りは0.32%。
元本保証を原則として、
効果的な投資により収入増を。

兵庫県の神戸市への 還元アップ

神戸市民の兵庫県への納税額は、
2,631億円にも及びます。
兵庫県の神戸市への還元額は、
1,024億円。たったの38.9%
国・県から財源・権限移譲を。

全ての事業を優先度の 順位付け

優先度の低い事業を一斉見直し

神戸市会12月議会で一般質問！

- ①勤労世代を支え、子育て支援の充実
1人目の出産から充実。産後ケアの拡大を要請
努力が報われる社会、大学生に対する奨学金の拡充
- ②成果主義とムダを省いた合理化を！
57億円の残業代の削減を要請 〆新年度は7億円減！
職員（現業）の高額給与を民間並みに是正



神戸市に対する皆様のご意見をお寄せください。
皆様のお声を受けて、積極的に実現に向けて動きます。
また、子育てや教育、進学、介護福祉、地域の課題、
企業支援など、神戸市会議員としてご相談承ります。

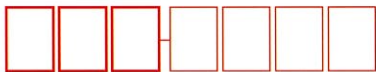
LINEでもお気軽にご連絡を！



TEL: 050-3632-3492 FAX: 078-330-0239

E-mail uehata.kobe@gmail.com

郵便はがき



神戸市会議員団（2期目）

山下てんせい

市政報告

昭和49年12月8日生まれ
西区春日台にて育つ
春日台小、白陵中、白陵高
横浜国立大学卒
父は前市議員 山下まさたけ
親子二代で西神ニュータウンの
未来のために頑張っています



西区の幸せな未来を、紡ぐ。

議員資料

自由民主党神戸市会議員団の一員として、
次の政策実現に向けて全力で取り組んでいます！

食の安全・農の活性化

西区の強みを活かした
「直売所」「観光農園」の
集客増^{UP}
新規就農者を
全面バックアップ！

人口減社会へのチャレンジ

東京や大都市圏からの
移住促進キャンペーンを
後押し
神戸を訪れてもらえる
ような政策を提言！

アーティストが活躍できる まちを目指す

西区新ホールに皆様の
意見を反映させるよう進言
神戸独特のアーティスト村
創出を後押し！

おかあさんの笑顔あふれる 西区をめざして

ニュータウンに住みたい
皆さんを応援
通学定期の補助を
拡充推進！

詳しくは神戸市会HPから議事録をご覧ください！

市政に対するご意見は、t.yamashita128@gmail.com まで

発行元：自由民主党神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 市役所 1 号館

山下てんせい

検索

TEL：078-322-5846 FAX：078-322-6164